

日本科学者会議 第19回総合学術研究集会 (岡山) 3rd Circular

テーマ： 「持続可能な社会への変革をともに」

日時： 2012年 9月14日(金)～16日(日)

場所： 岡山大学一般教育棟 (岡山市北区津島中2-1-1)

— 第19回総合学術研究集会(19総学) 3rd Circular をお届けします —

19総学の開催まで残り2ヶ月となりましたので、改めてご案内申し上げます。まず、今回の19総学の重要な討論課題として、4課題があると考えます。

第1に3.11東日本大震災の原因解明と復興に向けた取り組みの総括、第2に福島原発事故の原因解明と、原発なき社会の構築に向けた課題の整理と取り組みの交流、第3に憲法擁護と地方自治についての討議、第4に科学・技術と研究・教育の現状と取り組みの交流です。「持続可能な社会への変革」に向けて、市民も参加した熱い討論を期待しています。

次に、今回の新企画を紹介します。新たに2つのレクチャーを行います。一つめは、これまでの日本科学者会議(JSA)の活動を推進してきた方々によるマスターズレクチャーと、もう一つは、現在各地で活躍中の若手研究者によるヤングサイエンティストレクチャーです。どちらも分科会の開始前の時間帯に行いますので、どうぞご期待下さい。

更に分科会の目玉として、震災からの復旧・復興を議論する19総学特別セッション「東日本大震災 - 復旧・復興への提言」と、主催地域の特色を生かした2つの特別分科会「古代吉備の環境と歴史」「国連ESDの10年最終年會合にむけて」を設置しています。多数の方々の参加をお願いします。

これら以外に27の分科会、120を超える講演が企画されています。また講演会とは別に、夏の学校と連動した若手研究者交流会、女性研究者交流会、記念講演と特別講演に関連した市民団体との交流会も、初日の夜に行います。恒例のポスターセッションでは、震災関連の特別コーナーも設けます。最終日の閉会全体集会終了後には、参加費無料のエクスカッション2コースも企画されていますので、奮ってご参加下さい。

更にお時間の許す方は、翌日の祝日に企画されている水島地域と笠岡諸島、2コースのエクスカッションをお楽しみ下さい。このように非常に盛りだくさんの企画となっています。

皆さんも初秋の岡山で熱く討論しませんか？

会員の総力で19総学を是非成功させましょう。

第19回総合学術研究集会 実行委員長
稲垣賢二

1. 開催行事一覧

記念講演

記念講演 池内 了：持続可能な社会への変革とともに (14日午後)

特別講演

特別講演1 安齋育郎：原発破局への道
～翼賛体制を構成した7つの要因と変革への道～ (14日午後)

特別講演2 室崎益輝：安全・安心な社会の構築のために
～防災に何が必要か～ (14日午後)

交流会

市民団体との交流会 (14日夜)

女性研究者交流会 (14日夜)

JSA 若手「夏の学校」2012 開校式 (14日夕)

マスターズレクチャー (15日 9:00-9:50)

川崎 健：JSAと私の研究—半世紀を振り返って—

北村 実：JSAは学問の伴侶

小森田精子：JSA会員の協力で作り上げた講義

本間 慎：JSAに育てられて

ヤングサイエンティストレクチャー (15日 14:00-14:25)

大城 尚子：「安全保障」と植民地主義

小倉将志郎：現代資本主義と「金融化」アプローチ

衣笠 哲也：レスキュー活動支援等のための移動ロボット技術について

佐川 清隆：太陽光発電・風力発電の出力変動への対応

鈴木 忠義：「貧困ビジネス」の現状と課題

田口 直樹：技術論から見た日本の製造技術

田村 隆：微量必須元素セレンと私たちの健康

長島 雅裕：銀河の成り立ちを探る

長谷川千春：アメリカと日本の「無保険」問題

浜田 盛久：無水鉱物中の微量の水から島弧マグマ中の

水の量と挙動を読む新しい試み

牧 良明：日立における自動車部品事情

分科会

- S 特別セッション 「東日本大震災 - 復旧・復興への提言」** (15 日全日)
- L 特別分科会**
- L-1 古代吉備の環境と歴史 (15 日午前)
 - L-2 「国連 ESD の 10 年最終年會合」に向けて
～国内外の ESD の現状と課題そして将来～ (15 日午前)
- A 憲法・平和・思想**
- A-1 平和・安全保障問題 –核不拡散条約体制から核兵器全面禁止体制へ– (15 日全日)
 - A-2 生命倫理の今日的課題 (16 日午前)
 - A-3 21 世紀社会像の展開 (16 日午前)
 - A-4 「フクシマ」を通して近・現代の意味を問い直す (15 日午後)
 - A-5 憲法改正構想の憲法学的・政治学的検討 (16 日午前)
- B 経済・医療・暮らし**
- B-1 人間存在と「パーソン論」
～重度障害者・認知症者などは「生きているのがかわいそう」なのか～ (15 日午前)
 - B-2 地域社会・経済と地方自治の今日的課題と創造的展望 (15 日午後・16 日午前)
 - B-3 保健・医療・福祉の現代的課題と対策 (15 日午後)
 - B-4 放射線の人体影響 (16 日午前)
 - B-5 (B-3 と統合) (16 日午前)
 - B-6 グローバル企業に依存しない日本経済を実現するために (15 日全日)
- C 公害・環境・エネルギー・災害問題**
- C-1 食と農の政策科学–震災後の食と農を考える– (15 日午後)
 - C-2 福島原発事故と原子力行政 (15 日午後)
 - C-3 予防原則・リスク論を考える (15 日午前)
 - C-4 大震災に学ぶこれからの防災の課題 (16 日午前)
 - C-5 自然エネルギーの普及に向けた戦略 (15 日全日)
 - C-6 瀬戸内の地域環境再生 (第 32 回瀬戸内シンポジウム) (16 日午前)
- D 科学・技術・教育・社会**
- D-1 宇宙, 物質, 生命, 人間と社会の動的構造と発展 (15 日全日)
(第 2 回複雑系科学シンポジウム)
 - D-2 女性研究者・技術者のこれまでと今, そしてこれから (15 日午前)
 - D-3 科学・技術の現状批判 (15 日午前)
–日本の科学・技術の健全な発展のための課題 part 5–
 - D-4 科学・技術サロン (15 日午後)
–日本の科学・技術の現状とロマンを語る part 5–
 - D-5 3.11 後の社会運動と大学院生 (15 日午後)
 - D-6 真の科学・技術, 学術政策を求めて (16 日午前)
～第 4 期科学技術基本計画策定後の「科学技術イノベーション」政策の展開～
 - D-7 今, 改めて科学・技術教育を考える (15 日午前)

- D-8 研究者の権利・地位，倫理の確立のために (15 日午後)
- D-9-1 大学・試験研究機関の現状と課題 (15 日午前)
 大学・国公研の「法人化」がもたらしたもの
- D-9-2 大学・試験研究機関の現状と課題 (15 日午後)
 大学改革をめぐる現状と課題

2. 開催日程

日	時間帯	内容
9月14日 (金)	12:00 13:00 – 13:20 – 14:30 14:40 – 15:40 15:40 – 16:40 17:00 – 18:00 18:30 – 20:30	受付開始 開会全体集会 記念講演 池内了 「持続可能な社会への変革をともに」 特別講演1 安斎育郎 「原発破局への道」 特別講演2 室崎益輝 「安全・安心な社会の構築のために」 ポスターセッション 市民団体との交流会 女性研究者交流会
9月15日 (土)	8:30 – 9:00 – 9:50 10:00 – 13:00 13:30 – 14:00 14:00 – 14:25 14:30 – 17:30 18:00 – 20:00	受付開始 マスターズレクチャー 分科会Ⅰ ポスターセッション ヤングサイエンティストレクチャー 分科会Ⅱ 懇親会 (岡山大生協ピーチユニオン3F)
9月16日 (日)	8:30 – 9:00 – 12:00 12:00 – 13:00 14:00 – 16:00	受付開始 分科会Ⅲ 閉会全体集会 学内エクスカージョン(Aコース:池田家 文庫・考古学資料館, Bコース:半田山自 然教育研究林)
9月17日 (月・祝)	学外エクスカージョン (1:ひと・まち・環境を学ぶ 水島ツアー, 2:海上タクシーで巡る笠岡諸島)	

3. プログラム

開会全体集会

14日(金) 13:00~16:40

開会の挨拶:

第19回総合学術研究集会実行委員長 稲垣賢二

開催校歓迎の挨拶:

岡山大学理事・副学長 阿部宏史

記念講演: 池内 了「持続可能な社会への変革とともに」

3・11の大震災と原発事故によって、私たちは大きな衝撃を受けるとともに、科学者としての生き様を考え直すことを求められた。そのうちの2点、専門家としての科学者の社会的責任はいかなるものか、市民の科学への信頼がゆらいでいることをどう克服していくか、について論じてみたい。現代文明が科学・技術に依拠しているが故に、そして持続可能な社会への変革を展望するが故に、科学者として考えねばならないと思うためである。

特別講演1: 安齋育郎「原発破局への道

~翼賛体制を構成した7つの要因と変革への道~」

福島原発事故の発生以来、私は各地に講演に赴いたが、人々の関心は、放射能の影響の問題に集中していた。それは当然ではあるが、私は、この国が原発開発に走り破局を迎えた背景には、アメリカの対日核エネルギー戦略や、それを受け入れた日本政府、それと結合した電力資本など、戦後の政治・経済の動きがあったこと、そして、そうした体制の変革こそが必須であると感じてきた。本報告は、日本の原発開発の歴史に焦点を当てる。

特別講演2: 室崎益輝「安全・安心な社会の構築のために~防災に何が必要か~」

東日本大震災で問われたことは、日本の社会が持っている歪そのものと、巨大災害に対する備えの弱さである。この社会的歪や備えの弱さを克服することなくして、安全な社会の構築はなしえない。また、自治や自律という根源的な視点を忘れて、社会の安全は語れない。具体的には、危機管理と減災というキーワードに即して、日本の社会とその防災対策の持っている問題点、とりわけ被害想定と緊急事態対応の在り方について考察をする。

市民団体との交流会

14日(金) 18:30~20:30

コーディネーター: 白井浩子(岡山支部)

「市民の科学」と「市民の運動」の現状と課題について考えます。〈エネルギー、原発、防災〉をテーマに、池内・室崎両氏の参加も得て、市民団体・個人とJSA・会員が相互に意見と経験を交流しあう場です。多くの方々との交流を通じて、より豊かなネットワーク形成と持続可能な社会の実現を進めます。

一般公開の交流会になります。参加費無料につき、広く一般の方々の参加を歓迎いたします。

女性研究者交流会

14日(金) 18:30~20:30

コーディネーター: 沢山美果子(女性研究者技術者委員会)、笹倉万里子(岡山支部)

世代、専門分野を超えた女性研究者の交流会を行います。ワンコインでの軽食を取りながら、それぞれが女性研究者として抱えている問題や疑問を交流し、今、女性研究者をめぐって何が問題なのか、翌日の分科会「女性研究者・技術者のこれまでと今、そしてこれから」の議論へとつなげていけたらと考えています。非常勤の方も、院生の方も、研究を続けていきたいと思う方なら誰でも、また男性の方もぜひご参加ください。

参加希望者は、E-mailにてお申し込み下さい。申し込みメールは、件名に「19 総学女性交流会参加申込」、メール本文中に氏名、連絡先(E-mail アドレス)、「会員 or 非会員 or 院生・学生」を記入の上、sasakura@momo.cs.okayama-u.ac.jpまでお送り下さい。参加費(500円)は、当日会場にて集金します。

特別セッション

[S] 19 総学特別セッション「東日本大震災－復旧・復興への提言」

15 (土) 10:00-13:00, 14:30-17:30

コーディネーター：伊藤宏之（東日本大震災問題特別研究委員会）

午前 10:00-13:00

分科会Ⅰ 大震災復旧・復興の現段階での諸問題

- 1 刈田啓史郎：メディカルメガバンクの問題
- 2 井上大樹：原発出前授業の実践
- 3 岡山 博：自由論

午後 14:30-17:30

分科会Ⅱ 大震災復旧・復興の国民運動構築

- 1 伊東達也：復旧・復興運動の現段階
- 2 山本富士夫：大飯原発再稼働の問題
- 3 坂巻幸雄：複合災害論
- 4 網島不二雄：被災者の権利無視の復旧・復興戦略の構図

特別分科会

[L 特別分科会]

[L-1] 古代吉備の環境と歴史

15 (土) 10:00-13:00

コーディネーター：今津勝紀（岡山支部）

- 1 10:00-10:45 松木武彦：巨大古墳からみた古代吉備の成立
- 2 10:45-11:30 高橋明裕：古代のミヤケの立地と瀬戸内海
- 3 11:30-12:15 今津勝紀：古代吉備の氏族と伝承
- 4 12:15-13:00 総合討論：古代吉備の環境と社会

[L-2] 「国連 ESD の 10 年最終年会合」に向けて

～国内外の ESD の現状と課題そして将来～

15 (土) 10:00-13:00

コーディネーター：望月太郎（大阪支部）、青山勲（岡山支部）

- 1 青山 勲：ESD Rio+20 から ESD の 10 年最終年会合へ
- 2 阿部宏史：岡山大学における ESD 取り組みについて
- 3 末本 誠：高等教育における ESD の課題——神戸大学の取り組みから——

分科会

[A 憲法・平和・思想]

[A-1] 平和・安全保障問題_核不拡散条約体制から核兵器全面禁止体制へ_

15 (土) 10:00-13:00, 14:30-17:30

コーディネーター：亀山統一、沢田昭二（平和問題研究委員会）

午前の部 憲法問題、核兵器廃絶と国際平和問題

- 1 10:00-11:00 金子 勝：原子力発電と日本国憲法—原子力発電の違憲性—
- 2 11:00-12:00 沢田昭二：核兵器廃絶の現情勢と今後の展望
- 3 12:00-13:00 総合討論

午後の部 安保問題および基地問題

- 1 14:30-15:30 浜田 盛久、多羅尾 光徳：
宇宙へのロマンは平和であってこそ：JAXA 法改悪の問題点
- 2 15:30-16:00 阿部一雅：日本平和大会の成功をめざして
- 3 16:00-17:00 亀山統一：日米同盟再編路線の変容と在日米軍・自衛隊
- 4 17:00-17:30 総合討論

[A-2] 生命倫理の今日的課題

16 (日) 9:00-12:00

コーディネーター：宗川吉汪（生命と医の倫理研究委員会）

- 1 9:00- 9:45 宗川吉汪：「人体の不思議展」が問いかけた生命倫理の課題
- 2 9:45-10:30 末永恵子：プラスチック人体標本の商業展示に対する各国の規制状況—独・仏・米を中心に
- 3 10:30-11:15 黒須三恵：「死」をめぐる臨床倫理教育
- 4 11:15-12:00 総合討論 死者の尊厳と生命倫理

[A-3] 21 世紀社会像の展開

16 (日) 9:00-12:00

コーディネーター：松川康夫（21 世紀社会論研究委員会）

- 1 9:00- 9:05 開会
- 2 9:05- 9:20 北村 実：平和・公正・平等の世界秩序の確立をめざして
- 3 9:20- 9:35 塩谷 光：21 世紀の技術のあり方
- 4 9:35- 9:50 松川康夫：21 世紀社会の設計（補論）
- 5 9:50-10:05 牧野広義：『平和・公正・平等の世界秩序の確立をめざして』の検討
- 6 10:05-10:20 本間 慎：農林分野からのコメント
- 7 10:20-10:35 国村 勝：日本の選挙制度の問題点（外国選挙法と比較して）
- 8 10:35-10:50 川崎 健：科学からの発信とそれを受け止められない政治
- 9 10:50-12:00 質疑・討論

[A-4] 「フクシマ」を通して近・現代の意味を問い直す

15 (土) 14:30-17:30

コーディネーター：碓井敏正（思想・文化研究委員会）

- 1 14:30-14:50 島崎 隆：近代合理主義の人間・自然観と 3・11 問題
- 2 15:10-15:30 北村 浩：現代日本における近代 / 市民社会をめぐる問題状況
- 3 15:30-15:50 望月太郎：「市民」概念の変容
- 4 16:00-16:20 池田成一：「近代」とは何か？ 3・11 とからめて
- 5 16:20-16:40 上野 哲：サイエンスカフェは「科学・技術を議論する場になりえたか？
—福島原発事故をきっかけに近代合理主義と技術万能主義を再考する
- 6 16:40-17:30 総合討論

[A-5] 憲法改正構想の憲法学的・政治学的検討

16 (日) 9:00-12:00

コーディネーター：小畑隆資（岡山支部）

- 1 9:00- 9:30 小畑隆資：国家改造計画の現段階—民主党政権と橋下・大阪維新の会—
- 2 9:30-10:00 村上 博：地方分権改革と大阪都構想・道州制構想
- 3 10:00-10:30 中島茂樹：新自由主義的国家再編と地方教育行政
- 4 10:30-11:00 中富公一：教育委員会の憲法的地位と自治体による教育制度改革
- 5 11:00-12:00 総合討論（司会：竹内俊子）

[B 経済・医療・暮らし]

[B-1] 人間存在と「パーソン論」～重度障害者・認知症者など「生きているのがわいそう」なのか～

15 (土) 10:00-13:00

コーディネーター：渡部昭男（兵庫支部）

- 1 10:00-10:05 趣旨説明
- 2 10:05-10:35 高谷 清：重症児者医療の立場から
- 3 10:35-11:05 碓井敏正：規範哲学の立場から
- 4 11:05-11:35 白石正久：発達障害論の立場から
(休憩 10 分)
- 5 11:45-13:00 総合討論

[B-2] 地域社会・経済と地方自治の今日的課題と創造的展望

15 (土) 14:30-17:30, 16 (日) 9:00-12:00

コーディネーター：保母武彦（地方自治・地域問題研究委員会）

15 (土) 14:30-17:30

- 1 14:30-15:10 小山良太：福島県農業における放射能汚染問題と「風評」被害の構造
 - 2 15:10-15:50 大石真紀子：安心して暮らし続けられる村をめざして ～長野県阿智村～
 - 3 15:50-16:30 飯田克平：原子力災害と再生への過程
 - 4 16:30-17:30 総合討論
- 16 (日) 9:00-12:00
- 1 9:00- 9:30 藤田安一：鳥取市庁舎の新築・移転をめぐる住民投票—その特徴と意義—
 - 2 9:30-10:00 保母武彦：小規模自治体の先進的取り組み—北海道・下川町—
 - 3 10:00-10:30 関 耕平：小規模自治体の先進的取り組み—島根県・海士町—
 - 4 10:30-11:00 森 裕之：大都市をめぐる統治機構改革—大阪・関西の動きを中心に—
 - 5 11:00-12:00 総合討論

[B-3] 保健・医療・福祉の現代的課題と対策

15 (土) 14:30-17:30

コーディネーター：藤竿伊知郎（保健医療福祉問題研究委員会）

プログラム未提出につき、届き次第 HP にて掲載いたします。

[B-4] 放射線の人体影響

16 (日) 9:00-12:00

コーディネーター：沢田昭二（愛知支部）

- 1 9:00- 9:35 後藤隆雄：福島第一原発事故後に排出された ^{133}Xe についての考察
- 2 9:35-10:10 林 弘文：放射線の外部被曝と内部被曝
- 3 10:10-10:45 沢田昭二：放射線影響研究所が見逃した被曝影響と国際放射線防護体制
- 4 10:45-11:20 高岡 滋：放射線による健康障害リスク評価の基礎
- 5 11:20-12:00 総合討論 内部被曝影響はどこまで解明されているか

[B-5] (B-3 に併合)

[B-6] グローバル企業に依存しない日本経済を実現するために

15 (土) 10:00-13:00

コーディネーター：工藤昌宏（東京支部）、米田 貢（東京支部）

- 1 10:00-10:10 工藤昌宏：日本経済の再建を雇用と地域の視点から考える
 - 2 10:10-10:45 藤田 実：2000 年代におけるモノづくり環境の転換
 - 3 10:45-11:20 知見邦彦：大月市の地域おこしとネットワークづくり（仮題）
 - 4 11:20-11:55 山口 伸：京都府農村労働組合の活動をふりかえって（仮題）
 - 5 11:55-13:00 総合討論
- 午後 14:30-17:30
- 1 14:30-14:40 野中郁江：ファンド規制と労働組合という問題意識について
 - 2 14:40-15:20 鳥畑与一：「ハゲタカ・ファンド」の実態とその規制の国際的動向
 - 3 15:20-16:10 田村八十一：ファンドによる企業支配が企業経営および労働者に与える影響—事例報告
 - 4 16:20-17:00 野中郁江：昭和ゴム事件にみるファンドの横暴と金融・企業政策の課題
 - 5 17:00-17:30 総合討論

[C 公害・環境・エネルギー・災害問題]

[C-1] 食と農の政策科学—震災後の食と農を考える—

15 (土) 14:30-17:30

コーディネーター：西村一郎（食糧問題研究委員会）

- 1 14:30-15:00 宇野忠義：迫り来る食糧・農業危機
- 2 15:00-15:30 西村一郎：震災が問う食糧生産・被災者の食と健康

- 3 15:30-16:00 谷口憲治：地域資源循環活用による食料自給体制づくり
- 4 16:00-16:30 片山知史：水産物の放射能汚染と風評被害
- 5 16:40-17:30 総合討論

[C-2] 福島原発事故と原子力行政

15 (土) 14:30-17:30

コーディネーター：野口邦和（エネルギー・原子力問題委員会）

- 1 14:30-14:50 青柳長紀：苛酷事故防止と原子力防災の課題
- 2 14:50-15:10 児玉一八：志賀原発の「津波対策」「ストレステスト」の問題点
- 3 15:10-15:30 林 弘文：浜岡原発の歴史と問題点
- 4 15:30-15:50 直江俊一：震災から考える原子力関係法の問題点
(休憩 10分)
- 5 16:00-16:20 宮永崇史：青森県の原子力施設の現状と市民運動の広がり
- 6 16:20-16:40 青柳長紀：福島第一原発事故後のエネルギー・原子力政策の課題
- 7 16:40-17:00 吉村高男：原子力の本質～宇宙でこそ原子力の平和利用を！～
- 8 17:00-17:30 総合討論

[C-3] 予防原則・リスク論を考える

15 (土) 10:00-13:00

コーディネーター：西川榮一，小野塚春吉，森家章雄（公害環境問題委員会）

- 1 10:00-10:15 近藤 真：「予防原則と環境権の再定義（リスク論と環境権の再構成）」
- 2 10:15-10:30 西川榮一：予防原則からみた環境アセスメントの現状と課題
- 3 10:30-10:45 森家章雄：予防原則を踏まえた環境基準・安全基準に向けて
- 4 10:45-11:00 本間圭吾：決定形成における予防原則の確立
(休憩 15分)
- 5 11:15-11:30 長野 晃：寝屋川廃プラ公害を予防原則から考える
- 6 11:30-11:45 山口英昌：予防原則と食の安全—EU 食品安全法に見る予防原則と日本の現状—
- 7 11:45-12:00 佐藤克春：不確実性・予防原則・対抗的リスクコミュニケーション
～放射性物質による土壌汚染を念頭に～
- 8 12:00-12:15 小野塚春吉：不確かなものへの対応 —確率的影響における被ばく線量限度の
設定根拠と化学物質における VSD（実質安全量）についての考察—
- 9 12:15-13:00 総合討論

[C-4] 大震災に学ぶこれからの防災の課題

16 (日) 9:00-12:00

コーディネーター：坂巻幸雄（災害問題研究委員会）

- 1 9:00- 9:20 井口克郎：防災としての社会保障制度
—キューバ共和国における防災・医療体制調査から—
- 2 9:20- 9:40 前田定孝：地方自治体の災害時業務継続計画
- 3 9:40-10:00 奥西一夫：防潮堤の嵩上げと津波のハザードおよび震災復興計画
- 4 10:00-10:20 上野鉄男：陸前高田市の震災復興計画について
- 5 10:20-10:40 志岐常正：“想定外” 盲点をなくそう—若狭湾の津波防災と原発立地問題の例
など
- 6 10:40-11:00 小林芳正：放射性廃棄物をめぐる諸問題
- 7 11:00-11:20 坂巻幸雄：3.11 の実体験から見た首都直下地震対策の課題
- 8 11:20-11:40 中山俊雄：首都直下地震の被害想定の見直しと課題
- 9 11:40-12:00 総合討論

[C-5] 自然エネルギーの普及に向けた戦略

15 (土) 10:00-13:00, 14:30-17:30

コーディネーター：上園昌武（島根支部），岩本智之（中長期気候目標研究委員会）

Part 1 「自然エネルギー普及の障壁を打ち破る」

- 1 10:00-10:10 開会の挨拶, 趣旨説明
- 2 10:10-10:40 歌川 学: エネルギー政策と気候政策の問題点
- 3 10:40-10:55 草野清信: 脱原発社会(持続可能な社会)建設への道
- 4 10:55-11:10 菊山功嗣: 太陽光発電による年間の発電量予測
- 5 11:10-11:25 青野雄太: 自然エネルギー社会における自動車について
- 6 11:25-11:40 石綿 勇: 自然エネルギー普及のための電力網,
スマートグリッドについて考える

(休憩 15分)

- 7 11:55-13:00 総合討論
- 14:00-14:30 ヤングサイエンティストレクチャー
佐川清隆: 太陽光発電・風力発電の出力変動への対応

Part 2「先進事例から学ぶ」

- 1 14:30-14:40 趣旨説明
- 2 14:40-15:10 上園昌武: 自然エネルギー普及政策の現状と課題
- 3 15:10-15:30 阿部博光: 地域社会における地熱開発の現状と課題
- 4 15:30-15:50 岩田 裕: 四国地域の自然エネルギーの開発・普及の可能性を探る
- 5 15:50-16:10 立石雅昭: 新潟の自然エネルギーの取組と課題
- (休憩 15分)
- 6 16:25-17:30 総合討論

[C-6] 瀬戸内の地域環境再生(第32回瀬戸内シンポジウム)

16(日) 9:00-12:00

コーディネーター: 磯部 作(瀬戸内委員会)

- 1 9:00- 9:10 磯部 作: 瀬戸内の地域環境再生の現状と課題
-「第32回瀬戸内シンポジウム」解題として-
- 2 9:10- 9:30 林 美帆: 科学者と住民の協働 -西淀川大気汚染公害裁判と地域再生-
- 3 9:30- 9:50 小沢秀造: 尼崎の大気汚染改善のための弁護士と専門家の協力
- 4 9:50-10:10 粟屋かよ子: 四日市における環境再生の課題 -公害の真の克服を求めて-
- 5 10:10-10:30 中恵真理子: ヒアリング・ヴォイシズ運動と佐藤和喜雄
-岡山県の精神医療改革における足跡-
- 6 10:30-10:50 塩飽敏史: 瀬戸内海における海ゴミ問題の現状と課題
- (休憩 10分)
- 7 11:00-11:50 総合討論
- 8 11:50-12:00 まとめと瀬戸内アピールの採択

[D 科学・技術・教育・社会]

[D-1] 宇宙, 物質, 生命, 人間と社会の動的構造と発展(第2回複雑系科学シンポジウム)

15(土) 10:00-13:00, 14:30-17:30

コーディネーター: 長野八久(複雑系科学研究委員会)

- 1 中山 悠: 高密度飼育によるカエル体重の不均化
- 2 前田耕治: 神経伝達モデルとしての液膜電位振動系-伝播と同期の機構-
- 3 尼川大作: 集団意思決定行動における人類とミツバチの共通項(ダンス・ディベイトの検討から)
- 4 長野八久: 社会変革実験としてのサイエンスカフェ運動
- 5 嶋田一郎: 複雑系「臨界」モデルの可能性-地震, 紛争, 東日本大震災, 社会変革への適用の
試み
- 6 白井浩子: 存在と認識の階層的発展

[D-2] 女性研究者・技術者のこれまでと今, そしてこれから

15(土) 10:00-13:00

コーディネーター: 沢山美果子(女性研究者技術者委員会)

- 1 10:00-10:40 基調報告, 森岡孝二: 労働時間の性別二極分化と女性研究者
- 2 10:40-11:05 松本直子: 大学でのジェンダー教育から見えてくる傾向と課題
- 3 11:05-11:30 宮崎祐子: 若手研究者の研究環境

- 4 11:30-11:55 朴木佳緒留：女性研究者のキャリア形成
(休憩 15分)
- 5 12:10-13:00 総合討論

[D-3] 科学・技術の現状批判 ―日本の科学・技術の健全な発展のための課題 part5―

- 15 (土) 10:00-13:00
コーディネーター：長田好弘 (東京支部), 久志本俊弘 (大阪支部), 酒井士朗 (東京支部)
- 1 10:00-10:20 長田好弘：オープニングトーク―民間委員会の今後の活動を展望する―
 - 2 10:20-10:40 衣川清子：権利侵害 110 番委員会の活動強化に向けて
 - 3 10:40-11:00 久志本俊弘：若手技術者の育成と権利意識の強化 その2
 - 4 11:00-11:20 山本謙治：社会起業／社会イノベーションシステムの可能性考察
(休憩 10分)
 - 5 11:30-11:50 下間一成, 矢作英夫：高齢者雇用を口実にした不当な賃下げのたくらみについて
 - 6 11:50-12:10 後藤隆雄：最新鋭ゴミ処理場計画や下水処理場計画に何が、
資源循環型社会への逆行
 - 7 12:10-12:30 矢作英夫, 酒井士朗, 佐藤 豊：大規模災害における電気通信確保について
 - 8 12:30-12:50 酒井士朗, 矢作英夫：インターネットと携帯電話・スマートフォン
―安心・安全なネット社会のための課題を考える―

[D-4] 科学・技術サロン―日本の科学・技術の現状とロマンを語る part5―

- 15 (土) 14:30-17:30
コーディネーター：長田好弘, 榊原道夫, 松永光司 (東京支部)
- 1 14:30-14:50 長田好弘：自主技術開発と対米従属下での JAXA 法改悪の意図
 - 2 14:50-15:10 小金澤鋼一：原発震災で何が起きたのか
 - 3 15:10-15:30 池上幸江：『放射能汚染と食の安全』の講演を通して見えたもの
 - 4 15:30-15:50 榊原道夫：あぶない リニア中央新幹線
(休憩 10分)
 - 5 16:00-16:20 上野 哲：サイエンスカフェの現状と課題 ―科学技術倫理に関する話題は
なぜサイエンスカフェではとりあげられないのか―
 - 6 16:20-16:40 増澤誠一：知的財産立国とは何だったのか
 - 7 16:40-17:00 野村康秀：持続可能な社会と知的財産
 - 8 17:00-17:20 松永光司, 長田好弘：TPP・政府調達が日本の研究開発にもたらす害悪
―NTT 国際調達の歴史をふまえて―

[D-5] 3.11 後の社会運動と大学院生

- 15 (土) 14:30-17:30
コーディネーター：大月英雄 (若手研究者問題委員会)
- 1 14:30-14:40 趣旨説明
 - 2 14:40-15:00 報告 1…関東の事例から
 - 3 15:00-15:20 報告 2…名古屋の事例から
 - 4 15:20-15:40 報告 3…関西の事例から
(休憩 15分)
 - 5 15:55-16:30 地域別討論
 - 6 16:30-17:20 全体討論
 - 7 17:20-17:30 まとめ

[D-6] 真の科学・技術, 学術政策を求めて

- ～第 4 期科学技術基本計画策定後の「科学技術イノベーション」政策の展開～
16 (日) 9:00-12:00
コーディネーター：兵藤友博 (科学・技術政策委員会)
- 1 9:00- 9:35 兵藤友博：「科学技術イノベーション政策」の現段階
―科学・技術, 学術政策のあり方を問う―
 - 2 9:35-10:10 野村康秀：第 4 期科学技術基本計画と科学技術政策体系の変化

- 3 10:10-10:45 齋藤安史：第4期科学技術基本計画と高等教育政策
- 4 10:45-11:20 初山高仁：東日本大震災と科学技術政策
- 5 11:20-12:00 総合討論

[D-7] 今、改めて科学・技術教育を考える

15 (土) 10:00-13:00

コーディネーター：高原周一（岡山支部）

- 1 10:00-10:45 川勝 博：福島原発事故以後の科学リテラシー教育を考える
- 2 10:45-11:10 津田敏秀：科学の営みと医学研究の現状（医学と仮説）
（休憩 10分）
- 3 11:20-11:45 長島雅裕：教員養成課程における疑似科学を活用した科学リテラシー教育の試み
- 4 11:45-12:00 三上周二：小学校で原発をどう教えるかーフクシマがヒロシマになったー
- 5 12:00-12:15 植田一夫：総合学習 フクシマとヒロシマ
～小学生と考えたこの国の未来像～
- 6 12:15-12:30 林 節男：被害住民と科学者および資本・労働者による新しい科学・技術教育
ー公害防止協定による神岡鉱山立入調査 40 年に学ぶー
- 7 12:30-12:45 高原周一：大学における科学ボランティア活動と科学リテラシー教育の結合の
試み
- 8 12:45-13:00 総合討論

[D-8] 研究者の権利・地位、倫理の確立のために

15 (土) 14:30-17:30

コーディネーター：丹生淳郷（科学者の権利問題委員会）

- 1 14:30-15:00 高木秀雄：研究者の権利・地位宣言，倫理綱領制定活動の経過と現状
- 2 15:00-15:30 丹生淳郷：「研究者の権利・地位，倫理」報告文書を JSA 運動に活かすために
- 3 15:30-16:00 竹森 信：科学者・研究者・技術者に求められる倫理の理念と実際
- 4 16:00-16:30 菊地重秋：日本科学者会議も倫理綱領の制定に取り組みましょう
（休憩 10分）
- 5 16:40-17:00 湯浅委員長のコメント
- 6 17:00-17:30 総合討論

[D-9-1] 大学・試験研究機関の現状と課題 大学・国公研の「法人化」がもたらしたものの

15 (土) 10:00-13:00

コーディネーター：小滝豊美（国公立試験研究機関問題委）

- 1 10:00-10:35 小滝豊美：「改革」の連続で国立研究機関はどこへ行くのか
- 2 10:35-11:10 山口和孝：国立大学法人化がもたらしたものと大学政策の方向
- 3 11:10-11:45 森 利明：大阪府立大学をめぐる最近の大学改革の現状
- 4 11:55-12:30 岩橋昭廣：国立大学の法人化以降における私立大学の財政問題（仮題）
- 5 12:30-13:00 総合討論

[D-9-2] 大学・試験研究機関の現状と課題 大学改革をめぐる現状と課題

15 (土) 14:30-17:30

コーディネーター：細井克彦（大学問題委員会）

- 1 14:30-15:05 細井克彦：民主党政権下の大学改革政策の動向
- 2 15:05-15:40 齋藤安史：（科学技術関係）人財育成と大学改革
- 3 15:50-16:25 今井証三：高等教育の漸進的無償化の現状と課題
- 4 16:25-17:00 江尻 彰：私立大学改革と非常勤講師問題（仮題）
- 5 17:00-17:30 総合討論

閉会全体集会

16日 (日) 12:00～13:00

コーディネーター：伊藤宏之（日本科学者会議研究企画部長）

【ポスターセッション】

19総学の目的の一つに、各支部参加と活動の交流があります。したがって「ポスターセッション」は、支部、地区、委員会、会員のさまざまな「交流の場」と考えます。

各支部の創立、伝統、現在の活動の紹介などを歓迎します。各支部が活動する学園、地域の学問・研究・教育活動、自治体の政治情勢と支部独自の活動、他団体との共同活動の紹介を歓迎します。また、今回は「東日本大震災からの復旧・復興関連特別コーナー」を設置しますので、全国の会員の皆様からの積極的な発表を歓迎します。

なお、ポスターセッション申し込み締切は7月27日（金）とします。

ポスターのサイズはA0用紙縦置き（横84.1cm×縦118.9cm）内のサイズに収まる様に準備ください。

掲示は14日（金）13:00から16日（日）12:00までです。

なお、14日（金）17:00～18:00ならびに15日（土）13:30～14:00はポスターディスカッションの時間としますので、発表者はポスターの前にお立ちいただき、参加者との闊達な議論を深めて下さい。

詳細については19総学HPをご覧ください。

4. エクスカーション

【1】学内エクスカーション（無料）

環境に恵まれた岡山大学が研究・教育のために活用している資源や文化財を、参加者の皆様にご紹介します。

A コース

訪問先：考古資料展示室、池田家文庫（附属図書館）

B コース

訪問先：半田山自然教育研究林

開催日時：9月16日（日）14時から16時

集合場所：岡山大学一般教育棟前

参加費：無料

受付は、大会当日に大会会場にて行います。

【2】学外エクスカーション（有料）

1. ひと・まち・環境を学ぶ 水島ツアー

過去に学び、持続可能な社会を考えるエコツアーです。大気汚染公害で苦しんだ倉敷市水島で、公害問題の解決に立ち向かった専門家のお話と、現在進んでいる環境再生の取り組みの話を聞きます。また、県内最大級の戦争遺跡である亀島山地下工場（航空機）を見学し、環境・人の健康に配慮したまちづくりと平和について考えます。

集合場所：岡山駅西口

訪問先：鴨ヶ辻山展望台、亀島山地下工場跡、倉敷市環境学習センター

開催日時：9月17日（月・祝）9時から17時

ツアー参加費：5,800円（昼食、バス代込み）

定員：45名（最小催行人数10名）

申し込み締切：定員に達し次第

申し込み・問い合わせ先

公益財団法人 水島地域環境再生財団（みずしま財団） 担当：塩飽（しわく）

TEL：086-440-0121 FAX：086-446-4620

e-mail：shiwawku@mizushima-f.or.jp

2. 海上タクシーで巡る笠岡諸島 –過去と未来に出会える島–

笠岡の島には、戦後すぐに立った中学校や昭和の代表的な雑貨屋さんがあり、巨大な石きり場があります。島の自然と生活に触れると共に、人口減・高齢化が進む中で島の地域活性化に取り組む人々の活動を見聞します。

訪問先：笠岡諸島の中の北木島，真鍋島，大飛島

開催日時：9月17日（月・祝）岡山駅を基点として，7時45分から18時

集合時間・場所：岡山駅山陽線下りホーム7:57発の電車に乗車（笠岡駅着8:42）

（笠岡駅前 9:10 集合も可）

参加費：6,000円（海上タクシー代と昼食代，保険料として）

海上タクシー代を参加者数で割りますので，参加者が多いほど一人当たり経費が減ります。

定員：30名（最少催行人数 10名）

担当者（申込み連絡）：木村良夫（kimura@econ.u-hyogo.ac.jp），

白井浩子（実行委員 shirai88@yahoo.co.jp）

5. 参加費

事前参加登録（8月31日までに振込完了）

参加費：会員 3,500円，非会員 4,500円 院生・学生 2,000円

懇親会費：会員 3,500円，非会員 4,500円 院生・学生 2,000円

当日参加（9月1日以降の申込・振込者）

参加費：会員 4,000円，非会員 5,000円 院生・学生 2,000円

懇親会費：会員 4,000円，非会員 5,000円 院生・学生 2,000円

（いずれも予稿集含む）

1日券 一般 2,000円，院生・学生 1,000円（いずれも予稿集代別）

予稿集（販売価格） 2,000円

☆ 参加申込

当日受付の混雑を避けるため，できるだけ事前申込みをお願いします。

参加費割引あり（上記）

3rd サーキュラーに添付の19 総学事前登録専用振込用紙を使い，合計金額を振り込んで下さい。また，振込の控えは会場までお持ち下さい。郵便局の振込用紙を使用する場合には，氏名，連絡先，「会員，非会員，院生・学生」，「懇親会参加（有，無）」を明記して，合計金額を振り込んでください。

ゆうちょ銀行 記号・番号：01200-4-662

加入者名：日本科学者会議岡山支部

事前参加登録の金額は，8月31日までに振込完了した場合に限ります。9月1日以降に振込の方は，当日の金額になりますので，ご注意下さい。

☆ 受付

① 受付は，会場（岡山大学一般教育棟C棟1階玄関ホール）で行います。

② 当日参加の方は参加申込書にご記入のうえ参加費等をお支払い下さい。

③ 予稿集は会場受付でお取り扱いします。

④ 事前申込みされた方は，お名前を告げて，振込の控えを提示頂き，参加証と予稿集を受取ってください。

- ☆ 昼食：会期中、岡山大生協がご利用できます。
- ☆ 宿泊：19 総学 HP の「宿泊」ページをご覧ください。
- ☆ 書籍販売コーナー：会場に休憩室に岡山大生協書籍販売コーナーを設けます。
- ☆ 懇親会：9月15日（土）18:00より岡山大生協ピーチユニオン3Fで行います。
- ☆ 託児所：利用希望者は、氏名、所属、連絡先、お預けになるお子様の年齢、人数を renraku@ml.19sougaku.jp 宛てに7月31日（火）までに連絡下さい。状況に応じた保育室の設置を検討いたします。なお、締切以降は一切受け付けられませんので、ご注意下さい。

6. 分科会コーディネーター・講演者のみなさんへ

発表時の機器について、各コーディネーターには分科会ごとのとりまとめをすでにお願ひしてありますが、念のためお知らせします。

- ① プロジェクターは会場に備え付けてあります。
- ② パソコンは、各分科会ごとにご準備下さい。実行委員会では、準備いたしかねます。
- ③ 分科会で当日配布する資料は、必要部数を必ず各分科会コーディネーターもしくは各自で用意してご持参ください。会場での印刷には対応できません。

7. JSA 若手「夏の学校」2012

今年の夏の学校は、19 総学と併催することとなりましたので、概要をご案内いたします。なお詳細につきましては、JSA 若手「夏の学校」2012 の 1st circular をご覧ください。

1. 概要

- 日時 2012年9月14日（金）～16日（日）
 開催地 岡山大学津島キャンパス一般教育棟（〒700-8530 岡山市北区津島中 2-1-1）
 宿泊先 ピュアリティまきび（〒700-0907 岡山市北区下石井 2-6-41）
 参加費 約1万5千円（2泊3日、19 総学参加費込み）

2. タイムスケジュール

	午前	午後	夜
9/14 （金）		・ 記念講演 ・ 特別講演 ・ 開校式	・ 若手活動交流会 ・ 懇親会
9/15 （土）	・ マスターズレクチャー ・ 分科会 I（自由選択）	・ ヤングサイエンティスト レクチャー ・ 分科会 II（若手企画）	・ 懇親会
9/16 （日）	・ 分科会 III（自由選択）	・ 研究交流企画 ・ 閉校式	

3. 夏の学校に関するお問い合わせ

E-mail: jsa_summer_school2012@yahoo.co.jp (JSA「夏の学校」2012 実行委員会)

8. 会場案内

岡山大学（津島キャンパス・一般教育棟）

住所：岡山市北区津島中 2-1-1

TEL：086-252-1111（代表）

岡山大学津島キャンパスへのアクセス

- ・JR岡山駅西口から
バス約 8 分
（22 番のりばより「岡山大学・岡山理科大学」行、
「岡大西門」下車）
タクシー約 7 分
- ・JR津山線 法界院駅から
徒歩約 10 分



【日本科学者会議第19回総合学術研究集会実行委員会】

- 実行委員長 稲垣 賢二（岡山大学，岡山支部・全国幹事）
副実行委員長 青山 勲（岡山支部・代表幹事），小畑 隆資（岡山支部・代表幹事），
白井 浩子（岡山支部・代表幹事），山口 和秀（岡山支部・代表幹事）
事務局長 松木 武彦（岡山大学，岡山支部・事務局次長）
事務局次長 伊藤 宏之（全国事務局次長・研究企画部長），
望月 太郎（全国事務局次長・国際部長），
榊原 精（岡山支部・事務局次長），
村上 賢治（岡山大学，岡山支部・事務局長）
実行委員 磯部 作（日本福祉大学），宇野 忠義（岡山支部），
岡 剛史（岡山大学），織田 銑一（岡山理科大学），
河原 長美（岡山大学），衣笠 哲也（岡山理科大学），
城ヶ原貴通（岡山理科大学），塩飽 敏史（みずしま財団），
福田 憲一（ソワニエ看護専門学校），中堀 清（岡山大学），
宮本 拓（岡山大学），吉村 高男（山口福祉文化大学・全国常任幹事），
市川 浩（広島大学），上園 昌武（島根大学），
山根 俊喜（鳥取大学），左近 拓男（秋田大学・全国常任幹事），
今井 証三（愛知支部），深井 誠一（香川大学・全国常任幹事），
岩本 智之（大阪支部）

日本科学者会議岡山支部事務局 岡山大学大学院環境生命科学研究科

〒700-8530 岡山市北区津島中1-1-1

E-mail：renraku@ml.19sougaku.jp（問合せ用アドレス）

日本科学者会議事務局

〒113-0034 東京都文京区湯島1-9-15 茶州ビル9階

電話 03-3812-1472，FAX 03-3813-2363

19総学ホームページ：http://sky.geocities.jp/jsa_okayama/sougaku19th.htm